



平成30年度 仙北市立白岩小学校学校だより ～学校・家庭・地域をつなぐかけ橋として～

三つ柏

— MI-TSU KASHIWA NO.22 —

平成30年10月15日発行

上級生がリードして新しい伝統を作る後期に

— 後期始業式が行われました —



廊下は走りません

短い秋休みが終わり、10月11日(木)から平成30年度の後期がスタートしました。初日の1時間目、体育館で後期の始業式を行いました。

式の中で、校長からは「決まりや約束事を守る白岩小学校」にしていこうという話をしました。子どもたちの学校生活を見ていると、元気に活動しているのはとてもよいことですが、元気がありすぎて廊下を走るなど危険を感じることがありました。その都度、注意をしているのですがなかなか習慣化されていません。そこで、「決まりや約束事は、みんなを窮屈な生活をさせるためにあるのではなく、みんなが楽しく安全に生活するためにあるもの。みんなが大きくなればなるほど、守らなければならない決まりや約束事は多くなる。小学校のうちに、決まりや約束事を守る習慣を身に付けよう」と話し、「廊下は歩く」の他に、いくつか守って欲しい約束事を言いました（どんな約束事だったかお子さんに聞いてみてください）。



元気にあいさつします

また、みんなが約束事を守れるようになるには、6年生からの呼びかけが欠かせないとも話しました。6年生はあと半年で卒業です。卒業までに「決まりや約束事を守る白岩小学校」という新しい伝統を作ることができれば素晴らしいことだと思います。式では、2年生のH.さん、4年生のT.さん、6年生のY.さんが、後期の抱負を話してくれました。それぞれの発表の中にも、守りたい約束事や決まりがありました。また、式の後には、児童会から体育館やホールで遊ぶときの約束事の確認がありました。みんなでこれらの決まりや約束事を守って、楽しく安全な学校生活を送っていききたいものだと思います。保護者の皆様からも、お子さんにお声かけしていただければ幸いです。後期もよろしくお願いいたします。



掃除をがんばります

名札着用にご協力を！ ～名札はなぜ必要か？～

後期からみんなで守る約束事の一つが「学校では名札を付ける」です。前期は、人によってまちまちでした。小さい学校でみんながみんなの名前を知っているから名札は必要ないという意見もあると思いますが、学校は小さくても大きくても「公の場」です。家にいるときと気持ちの切り替えが必要です。「名札を着ける」という行為は、切り替えのきっかけの一つだと思います。名札を着けて「さあ、今日も学校生活ががんばるぞ」と思い、外すときには「今日も学校生活ががんばったな」と思えるようになって欲しいものだと考えています。

登下校時の名札については、防犯上の問題が指摘されていることもあり、学校内での着用を進めていきたいと思っています。服に傷が付くことを気になさる保護者の方もいらっしゃると思います。その場合は、ホームセンター等に傷つけないで名札を着用できる器具がありますので、ご利用ください。

何卒、名札着用の趣旨をご理解のうえ、ご協力よろしくお願いいたします。





大きく育った！芋と米

—全校白岩農園活動・5年生稲刈り体験—



10月3日(水), 5月に苗植えをしたサツマイモの収穫作業を, 全校縦割りグループで行いました。事前に6年生が土の上の葉っぱなどを片付けてくれたおかげでスムーズに作業をすることができました。中には顔よりも大きなイモもあり, 子どもたちは大きさを比べながら楽しく活動していました。収穫したイモは, 17日に行うナベッコの材料にしたり, 日頃お世話になっている学校周辺の施設にプレゼントしたりします。それぞれのご家庭にも子どもたちが持ち帰ったと思います。どんな料理で召し上がりましたか?

10月4日(木), 前日の全校でのサツマイモほりに続き, 5年生が稲刈りを行いました。総合的な学習の時間の活動の一環として行われたもので, 5月の田植え体験から続けての活動です。気を付けながら慣れない鎌を使って行いました。刈り取った稲はこの後精米し, 同じく総合的な学習の時間で調べたお米料理を作るそうです。どんな料理になるか楽しみです。田植えと今回の稲刈りを指導して下さったK.さん, 田んぼの一部を貸して下さったS.さん, 本当にありがとうございました。(イモの苗植えと田植えの様子は, 「学校報No.9」に掲載しております)



ちょっといいはなし

—挑戦することの大切さを 教えてくれた二つの出来事—

○学習発表会の成果の一つかな?

前期最終日に行われた終業式。3人の子どもたちが前期の思い出と後期にがんばりたいことをスピーチしてくれました。その中の一人が原稿を見ずに顔を上げて, 全校のみんなの方をしっかりと見て, 堂々とスピーチをしてきていました。やっぱり, 顔を上げてこちらの方をみて話してもらおうと, 聞く方もしっかりと聞かないといけないと思うことができるし, 言いたいこともきちんと伝わってきました。たとえ失敗しても, 原稿無しスピーチに挑戦してくれたことだけでも嬉しことですが, 今回のスピーチはとても立派で感心しました。学習発表会では, みんながセリフを暗記し, 原稿などを見ずに話すことができていました。これも, 学習発表会の成果の一つかなと思って聞いていました。また, 先日行った後期始業式でも, 原稿無しスピーチに挑戦する子どもがいました。上級生の姿をみて, 自分も挑戦してみようと思っ

てくれたのでないでしょうか。素晴らしいことですね。

○粘り強く, 再チャレンジ!!

秋休み前, 「暗唱を聞いてください」と1年生の子どもたちが校長室に来ました。国語の授業の一環として行われた活動です。

その中で, まだ完全に暗記が出来ておらず, ちょっとヒントを教えながらの暗唱になってしまった子どもがいました。悔しそうだったので, 「秋休み後もう1回やってみる?」と聞いたら, 「はい」と自信なさそうに答えて帰りました。

また来てくれるか不安でしたが, 秋休み後の初日, その子が校長室にやってきて, 暗唱を聞かせてくれました。今回はヒントも必要なく, 途中で止まることもない素晴らしい暗唱でした。校長室を出て行くときのその子の笑顔は最高でしたよ。